第１回越廼地域審議会　会議録

開催日時	平成２７年６月１０日（水）　１４時００分 ～ １５時２０分
開催場所	越廼総合支所　４階　多目的ホール
出席者氏名	矢谷会長、礒見副会長、岩上か委員、岩上照委員、上村委員、奥田芳委員、奥田記委員、北﨑委員、城﨑委員、田中委員、竺委員、中村委員、藤上委員、松原委員
欠席者氏名	大和委員
オブザーバー	
市　出席者	行政管理室　荻野主任 事務局　　堀川担当理事 宮崎支所長　鈴木振興課長　山田市民福祉課長 島田市民福祉課主任 振興課　橋詰　米澤
会議資料	別　添

協議概要・決定事項

≪市民憲章唱和≫

≪**地域審議会**≫

○協議・報告事項

【提言書の提出について】

説明：事務局（資料参照）

委　員　：地域審議会は、今年度で終了するのか。

会　長　：地域審議会は基本１０年である。１０年で区切りをつけることになっている。

担当理事：地域審議会については、合併協議の中で基本１０年ということが明記されている。よほどの案件がない限り、事務局として市長に「審議会の継続」を持ち上げるのは難しいと思っている。越廼地区については、自治会連合会、その他団体の皆さまが活発に活動されている。

今後の地域審議会の役割というのは、当然、自治会連合会が引き受けて頂いて、必要があれば市から自治会連合会に説明に伺うことになると思う。最終判断は市長がする。

委　員　：現実的に１０年経っても地域は大きく変わっていないと思う。

人口が減り若者が少ない状態が続いている。

越廼に限らず海岸線一帯の振興について、今の審議会に代わる団体を作り、末端地域をしっかり支えてくれるような方法を考えないといけない。

福井市は、中心市街地にある程度資金をつぎ込んでコンパクトシティ構想を実施しているが、その分、末端地域は全く繁栄していない。

越廼地区も限界集落であり、人が全くいなくなってしまう状況が必ずくる。

そういう実情をもって、福井市はどう対応していくのかをはっきりしないといけない。

審議会も終わりというならば、地域を考える組織を作っていく事が必要だ。

提言書の中で、一番重要なものは道路だと思う。

福井四ケ浦線を早急に整備しないと越廼地域全体が停滞し、衰退が止まらなくなってしまうのではないかと思う。

教育環境の整備も重要な案件だと思う。

越廼地区は人口が極端に減っており、交通の便は悪く、住宅事情も悪くて周りは空き家ばかりである。

このような状況の中で、しかも保育児童は減り保育園の経営も成り立たなくなってきており、福井の中心地へ出て行ってしまう。

末端地域を支えるためには、保育園や児童クラブで子供を預かって貰う事が必要だ。

保育園が無くなったら極端に人口は減るので、補助制度により経営ができるようにしなければならないと思う。

福井市が、子供の保育環境を支えないと地域が衰退してしまう現状を考えて欲しい。福井市の関係所属が１つになって、末端地域の維持をどうするのかということを是非考えて頂きたい。

地域づくりが難しい。地域が祭りなどイベントをしても、地域づくりに直結していない。

お願いしたいのは、総合支所を残して、住民自身が地域を支えていかなければならないという意識になるような施策をしていただきたい。

担当理事：たしかに子供あっての地域の未来だと思う。

子育て支援室と話をしている中で、新たに市の保育園を造るよりも今ある保育園を存続して行く方が将来的に安くできると言われた。

皆さんに親しまれている物は大事に育てて行くという方向で、市としても今まで通りやっていくべきだろうと色々進めている。

福井市中心部から越廼まで４５分くらいかかるが３０分圏内になれば良いと思っている。ただ、道路が良くなっても人口が減る可能性は十分ある。

地域の魅力をつくっていかないと若い人たちは出ていってしまう可能性が高いと

思う。
　総合支所の件は、前回、職員課が皆さまの意見をお聞きした。
　総合支所担当としても、総務部長には「総合支所という形で残して欲しい」とお願いをしているところだ。ただ、最終的には市長の判断になる。
　総合支所の今後については、職員課が、市長に提案する前に皆様のところへご意見を聞きに伺うと思う。その説明に納得がいかなければ、またご意見を頂きたいと思っているのでよろしくお願いする。

委　員　：ここに住んでいる者がこの越廼を支えていかなければならないことは現実である。
　残った者だけが支えないと他の者はしてくれないという感覚をしっかり持って地域づくりをやらないとだめだ。
　補助金に頼ったり、県や市や国に頼ったりしている間は活性化しないし、多分地域づくりにならないと思う。
　一番大事なのは、ここに住んでいる人達が自分達の地域をどう支えたらいいのか、皆がそういう気持にならないと、この地域は起き上がってこないと思う。
　今後の総合支所には、地域の人達が地域づくりをしていくためのアドバイスをしてもらいたい。決してお金がかかる話ではないと思う。
　道路については、整備がしてなければ、ここ住んでいる人達、外に住んでいる人達が安心できない。道路整備は一番大事なものだから、福井四ヶ浦線、国道３０５号線は最優先で整備して欲しいと願う。

委　員　：国道３０５号期成同盟会、福井四ヶ浦線の促進会議に出席し、色々な話を聞いても、整備をしてほしいという積極的な意思が感じられない。ただ関係する地域の人間だけからいろいろ意見がでるが、県の対応も積極的な返事がない。
　それと、地域づくりまちづくりは、現在越廼に住んでいる人がどうあるべきかを判断しなければならない。総合支所や地域審議会を残して欲しいと案が出たが、市も、地域づくりは地域の決断でやって下さいという考えだと思う。
　書類上の問い合わせや、意見を聞くだけの会は必要ない。
　残すのであれば意味のあるものでなければならないと思うので、市もそのことを踏まえて検討してほしい。

議　長　：提言書の記載方法についてはどうですか。

委　員　：越廼審議会からの提言の中に総合支所を残して欲しいことを盛り込んで欲しい。
　越廼地区の提言書案に「地域住民が地域の問題に取り組み、自らが主体となって域づくりを行っていく必要があります。」とあるが、総合支所では、このような地域住民の取組みの支えになってほしい。

委　員　：子育て支援に関してですが、保育園で子供を預かる体制が整っていないと若い人達は地元に来ないと思う。保育園をもっと助けていかないといけない。まちづくりも、以前に越前海岸線として国見、清水、越廼を活性化のポイントとして計画していたが、これといったことを実施していない。

議　長　：提言書にどう盛り込んだらよいか。

委　員　：項目の間に箇条書きの説明を入れた方がよいと思う。

担当理事：提言書案の様式については、平成２２年４月に提出したものを活用したものなので、今回の提言書の様式については、他の審議会と調整してもらえればいいと思う。

委　員　：越前海岸を中心として新たな協議会を作って欲しいということを盛り込んだらどうか。

担当理事：今、清水地区の公民館が４つに別れ、自治会連合会も４つに分かれたが、連合会長が年に数回話し合いの場を持っていると聞いている。川西地区でも連合会長が年に数回集まり活動している。

福井市では、任意団体の長より自治会連合会長が地域の代表と認識している。

任意の団体より、自治会連合会の会長・副会長達が年何回か集まり活動した方がスムーズに進むのではないかと思う。

越廼地区だけではなく、海岸線一帯、あるいは殿下地区も含めた自治会連合会の会長、副会長が集まって、話し合い等をして頂きたい。産業、観光促進ということに繋がってくるのではないかと思う。

委　員　：理事の言うとおり、地域づくり、まちづくりは、地域の役職をもった人達が自ら行動し、地域の住民が色々な事に参加することに意義がある。今の越廼にはそれが欠けている。

審議会で話し合っても、地元の人間が自覚しなければまちづくりはできない。

地元の人達の意思を持って立ち上がらなければ意味がない。

地域づくりまちづくりは地元の人間の問題だと思う。

委　員　：わたしは、地域審議会は１０年でいいと思う。

やはり自分達の地域のことは自分達でやらなければだめだ。

イベントにしても若者を育てるという事を実施していかなければいけない。

それにはやはり小さな子供達を育てないと越廼は伸びないと思う。

議　長　：提言書の本文のところはどうでしょうか。

委　員　：本文はそれでいいですが、地域の人づくりを加えてほしい。
　　住民自身が「地域を支えていかなければならない」という意識となるよう、行政にも力を貸してほしい。

議　長　：他にご質問やご意見等がないようですので、何か事務局からありますか。

事務局　：次回の審議会は、８月の下旬に開催したいと思いますので、よろしくお願いします。

【閉　会】

宮崎越廼総合支所長が閉会の挨拶を行い、第１回越廼地域審議会終了